高等学校理科（化学基礎）学習指導案（例）

|  |  |
| --- | --- |
| 日　　　時 | 令和○○年○月○日（○）　第○校時 |
| 学　年・組 | ○○科　○年○組（男子○○名、女子○○名） |
| 使用教科書 | 『化学基礎』（○○出版） |
| 指　導　者 | ○○高等学校　教諭　○　○　○　○ |
| 使用教室 | 化学実験室 |

１　単元名

物質の構成粒子

２　単元の目標

※*学習指導要領解説や教科書を踏まえて記述する。*

原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解させる。また、物質の性質についての観察、実験などを通して探究し、物質について微視的な見方ができるようにする。

３　単元の指導観

(1) 生徒の実態

※*生徒の興味・関心、学習態度、学力について記述する。*

(2) 指導の方針

※*上述（１）を踏まえ、達成させたい生徒の姿などを記述する。*

本単元の学習事項は、目で見ることのできない世界を含んでいる。そのため、物質の構成単位である原子の構造及び電子配置を視覚的にとらえさせるために、ＩＣＴ機器の活用や板書の工夫を取り入れることで、生徒の理解を補助できるように留意する。

４　単元の観点別評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 観察・実験の技能 | 知識・理解 |
| ・放射性同位体の年代測定や医療などへの利用方法について関心をもっている。 | ・原子の電子配置やイオン化エネルギーに関して、元素の示す特徴をグラフで表現し、元素の性質の周期性を説明している。・アルカリ金属の化学的性質を基に元素の周期律について考察し、報告書にまとめている。 | ・実験操作を安全に行い、実験結果を的確に記録する方法を身に付けている。 | ・原子の構造や元素の定義、同位体について理解している。・原子の構造を踏まえ、原子番号20番までの原子の電子配置を理解している。・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 |

５　単元の指導計画及び評価計画（５時間）

◎の付いた評価規準： 到達度の状況を単元評価の総括の資料とする。

○の付いた評価規準： 指導改善、到達度の状況に応じた適切な働きかけや指導の手立てを行うことを主に重視するもので、単元評価の総括の資料としない。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容 | 学習活動とねらい | 評価の観点 | 評価規準 | 評価方法等 |
| 関 | 思 | 技 | 知 |
| １ | 原子の構造 | ・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を確認する。また、身近な元素の安定同位体を確認する。　　　　　　　　 【板書】・放射性同位体の性質を安定同　位体と比較しながら整理するとともに、放射性同位体の年代測定や医療などへの利用方法について理解する。　　　　　【ワークシート】 |  |  |  | ◎ | 原子の構造や元素の定義、同位体について理解している。 | ・ノート・行動観察・学習の振り返りシート |
| ◎ |  |  |  | 放射性同位体の年代測定や医療などへの利用方法について関心をもっている。 | ・ノート・学習の振り返りシート |
| ２ | ・原子番号20番までの原子の電子配置を整理して理解する。【板書】【確認テスト】・原子の一般的な性質（大きさ、質量、電気の量など）を、構成する陽子、中性子、電子の性質やそれぞれの配置から考察し、ワークシートにまとめる。　　　　【ワークシート】 |  |  |  | ◎ | 原子の構造を踏まえ、原子番号20番までの原子の電子配置を理解している。 | ・確認テスト・ノート・学習の振り返りシート |
|  | ○ |  |  | 陽子、中性子、電子の数の違いから、原子の性質を考察している。 | ・ワークシート |
| ３ | 電子配置と周期表 | ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。　【板書】 |  |  |  | ◎ | 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 | ・ノート・学習の振り　返りシート |
| ４ | ・単原子イオンの生成を、電子配置と関連付けて理解し、イオン化エネルギーの周期性を考察する。【板書】・電子配置やイオン化エネルギーに関して、元素の周期律をグラフで表現し、グラフを基に元素の性質の周期性を文章で表現する。　　　　　　　　【演習】 |  | ◎ |  |  | 原子の電子配置やイオン化エネルギーに関して、元素の示す特徴をグラフで表現し、元素の性質の周期性を説明している。 | ・ノート・演習レポート |
| ５）本時（ | ・実験を通して、周期表第１族の元素（アルカリ金属）の性質を調べる。そして同族元素の性質の類似性を確認することで、元素の周期律について考察し、報告書にまとめる。【生徒実験】 |  |  | ◎ |  | 実験操作を安全に行い、実験結果を的確に記録する方法を身に付けている。 | ・行動観察・実験レポート |
|  | ◎ |  |  | アルカリ金属の化学的性質を基に元素の周期律について考察し、報告書にまとめている。 | ・実験レポート |

６　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 題目 | 周期表第１族の元素（アルカリ金属）の性質 |
| 本時の目標 | ①実験操作を安全に行い、実験結果を的確に記録する方法を身に付ける。　　　 〈観察・実験の技能〉②アルカリ金属の化学的性質を基に元素の周期律について考察し、報告書にまとめる。〈思考・判断・表現〉 |
| 準備 | シャーレ、ろ紙、ビーカー、時計皿、ピンセット、試験管、試験管立て、カッターナイフ、ライターナトリウム片、（カリウム片）、水、フェノールフタレイン、灯油、防護メガネ |
| 段階 | 具体目標 | 学習内容・活動 | 指導上の留意点 | 評価 |
| 導入５分 | ○アルカリ金属を安全に取り扱う方法を確認する。 | ○本時の学習内容及び観察、実験の目的を確認する。○アルカリ金属を安全に取り扱うのに必要な知識を確認する。 | ○既習事項とこれから行う実験の注意事項とを関連付ける。○次の理由について、意見を求める。【発問】・防護メガネを使用する・ナトリウムは直接手で触れず、ピンセットで取り出す |
| 展開35分 | ○アルカリ金属の化学的性質に関する観察・や実験に、目的意識をもって意欲的に取り組む。○観察、実験の方法を十分に理解し、安全に実験を行う。 | ○実験レポートで実験操作や注意点を理解、確認する。【操作１】①ナトリウム片の外観及びナイフで切ったときの切り口の観察②水に入れたときの様子の観察③発生した気体の推定→化学反応式を完成させ、発生した気体の種類及びその確認方法を班で考察する④水溶液の液性の確認【操作２】⑤濡れたろ紙上のナトリウムの様子の確認 | ○実験班を回り、実験が安全に行われているかを確認する。○予想を立てながら、目的意識をもって観察、実験を行うように促す。〈ポイント〉・空気中での酸化の確認・金属光沢の確認・ナトリウムの密度に関する気付き・水と反応して生成した物質への興味・関心・発火した際の炎色反応に対する気付き　　　　　　　　　など○ビーカーに時計皿を被せたままドラフトに運ばせ、発生する白煙の処理をさせる。 | ○実験操作を安全に行い、実験結果を的確に記録する方法を身に付けている。〈観察・実験の技能〉 |
| まとめ10分 | ○アルカリ金属の化学的性質を基に元素の周期律について考察し、報告書にまとめる。 | ○観察事項を実験レポートに整理しながら、考察する。○カリウムの性質を確認する。【時間があれば演示実験】○アルカリ金属の性質を中心に周期律が見られる原理について、班内での意見交換を通して考察を深める。○実験等についての感想及び自己評価を記入する。実験レポートを完成させ、提出する。 | ○カリウムでの反応を予想させる。【発問】・周期表でのカリウムの位置を確認する・水との反応は？・炎の色は？ |
| ○時間に余裕があれば、ナトリウムとカリウムの電子配置を確認させ、考察をより深めさせる。 | ○アルカリ金属の化学的性質を基に元素の周期律について考察し、報告書にまとめている。〈思考・判断・表現〉 |